

令和2年度

懇談会資料

宮崎大学工学部

目 次

I 学業履修について

1. 学業成績について	1
2. 卒業について	1
3. 授業について	1
4. その他	1

II 一般的な事項

1. 修学や学生生活の支援体制	2
2. 欠席について	2
3. 無断欠席者に対する処置について	2
4. 定期試験の際の不正行為について	2
5. 工場実習、工場見学、インターンシップについて	3
6. 在学証明書等の交付について	3

III 経済的な問題について

1. 入学当初の納付金	4
2. 月平均所要額	4
3. 高等教育の就学支援新制度（授業料免除＋給付奨学金）について	5
4. 奨学金について	5
5. 授業料の納入について	5
6. 授業料免除および分納について	6
7. アルバイトについて	6
8. 宮崎大学生生活協同組合	6

IV その他

1. 就職について	7
2. 学生教育研究災害保険について	7
3. 学生の呼び出しについて	7
4. 自動車通学について	7
5. 海外留学について	7

※ 新生生に関係ある教職員名簿	8
-----------------	---

参考

2020年度学年暦	9
令和元年度就職状況	10

本資料は、例年の保護者懇談会の席上、保護者の方々から出されるご質問をもとに作成しております。ここに記載してある以外のことについても、遠慮なくお尋ねくださることを期待しております。

I 学業履修について

1. 学業成績について

学業成績については、平成14年度から学生の単位取得などの勉学状況を保護者にも知っていただくために成績通知書の送付を行っています。送付時期は6月初旬と11月中旬です。

また、学生も証明書自動発行機等により成績証明書を発行することにより、各自で単位の取得状況を確認できるようになっています。

2. 卒業について

4年以上在学し、所定の単位を取得すれば卒業することができます。ただし、工学部では、4年次になった年の4月初旬に「卒業研究に着手することができるか否か（卒業研究着手要件）」についての確認が行われ、この要件を満たしていないと卒業研究に着手することができず、卒業が遅れることとなります。

3. 授業について

令和2年度の学年暦については、別添のとおりです。新型コロナウイルス感染症の影響により、前期授業は4月22日開始、定期試験日が8月31日までとなっております。通常は、定期試験期間は1週間であり、宮崎大学全体での学年暦も8月21日までとなっておりますが、工学部は試験室の3密回避のため、2週にわたって定期試験を行います。

なお、春季休業は3月24日～3月31日となっておりますが、実際には後期試験終了後から春季休業となります。

授業時間は、下記のとおりです。令和2年度前期は新型コロナウイルス感染対策として、学生食堂が混雑することを避けるため、昼食の時間を2時間確保し、授業時間を90分から75分に短縮して授業を行いました。後期の授業時間につきましては、授業時間を90分に戻し、一部休み時間の短縮、授業開始時間の繰り下げにより昼休みを1時間30分確保する予定です。

今後の状況により変更の可能性がありますので、学生支援部及び工学部Webサイトの「新型コロナウイルスに伴う授業関連情報」で最新情報をご確認ください。

	通常	前期（短縮）	後期（繰り下げ）
1・2時限	8：40～10：10	8：40～9：55	8：40～10：10
3・4 〃	10：30～12：00	10：15～11：30	10：30～12：00
	昼食	昼食	昼食
5・6時限	13：00～14：30	13：30～14：45	13：30～15：00
7・8 〃	14：50～16：20	15：05～16：20	15：15～16：45
9・10 〃	16：40～18：10	16：40～18：10	17：00～18：30

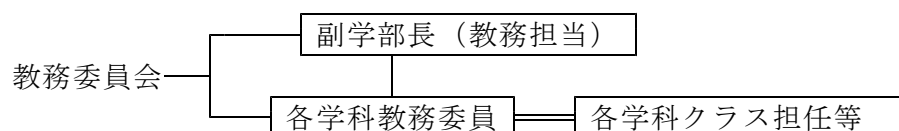
4. その他

学業履修についての要領は、本人に配付してある「キャンパスガイド（学生便覧）」又は「シラバス」に詳しく記載してあります。

II 一般的な事項

1. 修学や学生生活の支援体制

学業履修上の問題や学生生活上での諸問題の相談に応じるために、工学部では次のような組織があり、さらに各教員が決められた時間帯に、学生の様々な相談を受け付けるオフィス・アワーが開設されています。何か相談したい事がありましたら、このオフィス・アワーをご利用されるか、あるいは各クラス担任又は教務・学生支援係にご相談ください。



また、安全衛生保健センターでも次のような相談を行っていますので、積極的に利用するようお伝えください。

相 談 内 容	安全衛生保健センター担当者
<ol style="list-style-type: none">1. 定期健康診断2. その他の健康診断3. 診断書の発行4. 応急処置5. からだの健康相談6. こころの健康相談7. メンタルヘルスセミナー8. メール相談9. アルコールパッチテストなど <p>学生生活における個人的な問題、人間関係、新型コロナウイルス感染症などについて不安を感じたり、悩んでいる人に対しても相談に応じます。秘密は厳守されます。</p>	<p>保健管理医</p> <p>武田龍一郎 教授</p> <p>楠元和美 講師</p> <p>TEL:0985-58-3423 FAX:0985-58-7670</p> <p>メールアドレス kokoro@of.miyazaki-u.ac.jp</p> <p>ホームページ http://www.miyazaki-u.ac.jp/anzen/</p>

※ 相談の希望を事前に申し込んでください。

※ 受付時間等は安全衛生保健センターのホームページで確認してください。

2. 欠席について

病気その他の事情で2カ月以上の欠席が続くような時は、休学した方がいい場合がありますので、クラス担任とよく相談し、休学等の手続きをする場合は、教務・学生支援係に問い合わせてください。

欠席が続き出席率を満たしていない科目は、定期試験での受験資格を失うことがあります。

3. 無断欠席者に対する処置について

無断欠席が長期に及ぶ場合は、学生本人に連絡し面談等を行ったうえで、必要に応じて保護者にもおいでいただき本人を交えて話し合いを行います。場合によっては、1年又は半年様子をみる等の休学や進路変更等も含めた対応をとることもあります。

4. 定期試験の際の不正行為について

定期試験の際、不正行為（カンニング）を行った場合は、「2週間以上の停学」処分を受けるとともに、併せてその定期試験期間中に受験した試験科目の成績はすべて

無効となり、卒業延期は必至となり就職や大学院進学にも大きく影響を及ぼします。
また、授業料免除等の資格を失う場合もあります。

5. 工場実習、工場見学、インターンシップについて

- 学科によって多少の違いはありますが、2～3年次生になると夏季休業期間（8月9日～9月30日）中に工場実習や工場見学が行われます。また、全ての学科で企業等でのインターンシップを開講しており、所要時間数等の要件を満たせば単位として認定しています。
 - 学科によっては、4年次生になる前の3月の春季休業中に関西地は九州管内等を中心にした工場見学が行われます。これは強制ではありませんが、最新の科学技術の状況をじかに見聞する機会でもあり、また就職先の見学になる場合もあるので、多数の参加をお勧めしたいと考えています。
- ※ 現在はコロナ禍のため、工場実習、工場見学、インターンシップが難しい状況です。県外での1 dayインターンシップについては、Web開催に代えられないか、本学教員から企業に確認した上で参加させています。

6. 在学証明書等の交付について

遠隔地保健証等の交付を受ける際に必要な「在学証明書」は、330記念交流会館に設置してある証明書自動発行機により発行できます。発行には学生証が必要です。
その他、成績証明書や卒業見込証明書、学内の定期健康診断による健康診断証明書等も学生自身が証明書自動発行機により取得することが可能です。

Ⅲ 経済的な問題について

1. 入学当初の納付金

1. 入学金	282,000	円
2. 前学期授業料	267,900	
3. 学生教育研究災害保険料	3,300	(通学中等特約付帯4年間)
4. 学生教育研究賠償責任保険料	1,360	(インターシップ・実験中等4年間)
5. 同窓会会費	30,000	
6. 生活協同組合出資金	20,000	(卒業時に返還)
7. 学生自治会	12,000	
計	616,560	円

2. 月平均所要額 (2011年宮大生協生活実態調査より)

① 収入

単位 円

区分	家庭から	奨学金	アルバイト	その他	合計
自宅通学	15,440	10,630	25,190	630	51,890 円
自宅通外学	50,120	29,380	14,950	2,050	96,500 円

② 支出状況

単位 円

区分	書籍費	勉学費	交通費	教養 娯楽費	食費	住居費	日常費	その他
自宅通学	1,430	290	10,490	5,570	13,360	710	4,430	710
自宅通外学	2,030	980	2,570	4,710	19,290	43,270	4,170	1,760

区分	電話代	貯金 繰越	合計
自宅通学	3,070	13,940	17,010 円
自宅通外学	5,330	7,120	12,450 円

3. 高等教育の就学支援新制度（授業料免除＋給付奨学金）について

住民税非課税世帯・準ずる世帯の学生（留学生や大学院生は対象外）へ、入学料・授業料の免除/減額と、日本学生支援機構給付奨学金の支給が行われています。また、予測できない事由により家計が急変した学生も、授業料免除と給付奨学金の対象です。支援額は下表のようになっています。

区 分	日本学生支援機構 給付奨学金(月額)		授業料 免除額 (半期)	年間支援額 (給付奨学金＋授業料免除)		入学料 免除額 (新入生のみ)
	自宅通学	自宅外通学		自宅通学	自宅外通学	
第Ⅰ区分	29,200円 (33,300円)	66,700円	全額免除 267,900円	886,200円 (935,400円)	1,336,200円	全額免除 282,000円
第Ⅱ区分	19,500円 (22,200円)	44,500円	2/3免除 178,600円	591,200円 (623,600円)	891,200円	2/3免除 188,000円
第Ⅲ区分	9,800円 (11,100円)	22,300円	1/3免除 89,300円	296,200円 (311,800円)	446,200円	1/3免除 94,000円

4. 奨学金について

奨学金の大半は日本学生支援機構奨学生（在学生の30%）ですが、その他に地方奨学生（都道府県、市町村）、民間・財団等の育英制度もあります。日本学生支援機構奨学金は下表のようになっています。

第1種 奨学金	無 利 子	卒業後返還 10～20年	前期分については入学手続き期間中に申請	自宅通学 20,000円・30,000円・45,000円から希望金額を選択 自宅外通学 20,000円・30,000円・40,000円・51,000円から希望金額を選択	高校時代成績 3.5 以上 *予約採用者 一種のみ
第2種 奨学金	卒業後年3%以下の利息付返還	同 上	同 上	20,000円～120,000円（1万円刻み）の間で希望金額を選択	高校時代成績 平均水準以上

なお、この他災害、家計急変、その他特別な事情等が生じた場合は、日本学生支援機構へ随時申請できますので、学生支援部学生生活支援課（0985-58-7140, 7976, 7882）に相談してください。

都道府県、市町村、財団、民間等の奨学金で、前年度、大学を經由して募集があり、採用のあった団体は、キャンパスガイドに記載されています。

宮崎県育英資金、宮崎県奨学会、福岡県奨学会、岡山県育英会、山口県奨学会など

5. 授業料の納入について

授業料の納入方法は、本人又は保護者の希望する全国の銀行又は郵便局の口座から口座振替により納付する方法となっており、次の日程で口座引落としされます。例年、新入生の引き落としを5月に行っておりますが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、引き落とし日を6月に変更しました。

前期分 令和2年 4月27日（月） 新入生のみ 6月29日（月）
後期分 令和2年 10月27日（火）

なお、入学時に申請した預金口座等を変更する場合は、財務課出納係（0985-58-71

22) でお手続きください。

※ 納期までに授業料が納付されない場合は、本人または保証人へ督促（前・後期、各2回）が行われます。納付されない場合は、学則により除籍となりますのでご注意ください。

6. 授業料免除および分納について

別添「令和2年度後期分 授業料免除について」をご確認ください。
経済的な理由等により授業料の納付が困難な場合は、免除の申請をすることができます。申請を希望する方は、学生支援部学生生活支援課（0985-58-7976）で申請書類についてお問い合わせください。

また、パンフレット配付時期や申請時期等については、学内の掲示や宮崎大学ホームページ等で案内されますので、掲示等を常に見るように指導をお願いします。

なお、免除申請の手続をされましたら、その結果がでるまでの間は授業料の徴収は猶予されますが、免除結果が出た場合は、速やかに納付すべき授業料額を納付しなければなりません。

※ 特別の事情がある場合は、月割分納を許可することがあります。分納願を提出し、許可を受ければ月割分納することができます。

なお、授業料の免除額は、全額、20万円又は10万円です。

7. アルバイトについて

学生支援部学生生活支援課では、家庭教師や学生にふさわしい職種のアルバイトの情報提供を行っています。しかしながら、アルバイトや奨学金で入学後の生活費・学費の全てをまかなうことは不可能な状況であり、毎日の講義や自宅での予習復習に要する時間を考えれば、アルバイトと学業との両立は難しいのが現実です。

一般的なアルバイトの賃金は、概ね次のとおりです。

家庭教師	週2回	1日2時間	月額	24,000円～30,000円
世論調査、交通量調査、測量分析の調査			日当	6,000円～9,000円

※ アルバイトの時間が増えたり、夜のアルバイトを続けているため、身体がもたず、修学意欲を失って留年又は退学する学生もありました。学部としても学生生活等への注意指導を行います。保護者の方でも気をつけていただきたいと思っております。

8. 宮崎大学生生活協同組合

教職員と学生の出資金で組織している財団法人です。生協には、食堂や売店があり、アパートの紹介や書籍・文具・家電製品等の組合員価格での販売、航空券等のチケットの手配も行っています。生協への出資金は20,000円ですが卒業時には各人に返還されることになっています。

IV その他

1. 就職について

本学部学生の就職については、各学科に就職担当教員がおり、企業等からの求人照会に基づき各人の希望等を十分聞き、ふさわしい所を推薦しています。

また、各就職担当教員による新しい就職先の開拓も併せて行っており、同窓会費の一部も、この就職業務の活動に使わせていただいています。

2. 学生教育研究災害傷害保険について

本保険は、「正課中に生じた不慮の災害事故」に対する救済措置を行うことを目的に、日本国際教育支援協会と国内損害保険会社との契約により実施されているものです。大学キャンパス内での課外活動における災害事故及び通学途中の事故にも適用されますので、原則全員加入となっています。

工学部では、実験・実習及び卒論実験などで不慮の事故にあう確率が他学部に比べ多いと思われるので、是非ご加入願いたいと思っています。

この保険の掛金は、4年間一括払いで3,300円です。

また、別途「学研災付帯賠償責任保険」Aコース「学研賠」（保険料；4年間1,360円）にも加入してください。

工学部学生は高額な機材を使用するほか、3年次に工場実習（選択科目）・インターンシップを実施している学科もあり、原則全員加入となっております。

3. 学生の呼び出しについて

学生個人の呼び出しは行っていません。ただし、特別の事情がある場合は、掲示等により対応しますので、教務・学生支援係（0985-58-2874）に相談してください。

4. 自動車通学について

自動車の運転免許を持っているご子息、ご子女も多いと思います。自動車で通学しようとする者は、学生生活支援課に入構証の申請を行ってください。

なお、木花キャンパスにおける入構証申請の対象者は、原則として通学距離が2km以上の者となっています。

ただし、公共交通機関を使って通学しても授業に間に合わない等の事情や、身体の障害や病気等による特別の事情がありましたら、ご相談ください。

5. 海外留学について

宮崎大学は、現在、約80の海外の大学及び高等教育機関と、教育や研究の協力と交流を促進するため、国際交流協定を締結しています。双方の学生及び教職員が、研究等を目的として活発に交流を深めており、それらの大学等からの留学生も在籍しています。なお、交流協定を結んでいる大学で履修した科目については、単位の認定も行っています。

また、工学部からも昨年度は数名の学生が協定大学等に留学し、勉学及び国際交流に頑張っています。国際的な視野を深めるためにも非常に意義のあることで、工学部としても積極的に取り組んでいきたいと考えています。

平成26年度から、全学科に海外体験学習（選択科目）のカリキュラムを開講し、希望者によるインドネシアブラウザジャヤ大学での海外体験学習に学生が参加し単位を修得しました（費用は10万円程度）。

留学を希望される場合には、クラス担任ともよく相談し、国際連携課や工学部国際教育センター、教務・学生支援係にお問い合わせください。

※ 現在はコロナ禍のため、海外渡航は禁止となっております。

新入生に関係ある教職員名簿

学部長	横田光広
副学部長（教務担当）	田村宏樹
副学部長（評価担当）	土手裕
副学部長（研究担当）	西岡賢祐

1年次生クラス担任

環境応用化学科	白上努
社会環境システム工学科	末次大輔
環境ロボティクス学科	横道政裕
機械設計システム工学科	長瀬慶紀
電子物理工学科	福山敦彦
電気システム工学科	松本寛樹
情報システム工学科	油田賢太郎

事務部

	電話番号	メールアドレス
教務・学生支援係 （総括担当）	58-2874	teckyoum@of.miyazaki-u.ac.jp
教務・学生支援係 （修士課程・留学生担当）	58-7979	eng-m@of.miyazaki-u.ac.jp
総務係	58-2871	kousoumu@of.miyazaki-u.ac.jp

2020年度 学年暦 [2学期制]

下線は変更箇所

学年始・前学期開始 入学式 新入生オリエンテーション 在学生オリエンテーション <u>前学期授業開始</u> 振替開講日 予備日 振替開講日 予備日 <u>定期試験</u> 予備日 <u>夏季休業</u> 基礎教育科目再試験 前学期終了	4月1日(水) 4月3日(金) 実施延期(時期未定)→中止 4月6日(月) 4月7日(火)・4月8日(水) ※新入生は健康診断を実施 <u>4月22日(水)</u> 2週間繰り下げ 5月7日(木)「水曜日時間割授業」 6月19日(金) [4/22～6/18に全学休講が生じた場合に実施] 7月29日(水)「月曜日時間割授業」 8月15日(土) [6/15～8/14に全学休講が生じた場合に実施] <u>8月17日(月)～8月31日(月)</u> ※工学部は新型コロナウイルス対策のため2週間実施 ※定期試験実施日は、別途設定される場合がありますので注意してください。 <u>8月22日(土)</u> [8/17～8/21に全学休講が生じた場合に実施] <u>9月1日(火)～9月30日(水)</u> 9月7日(月)～9月11日(金) 9月30日(水)
後学期始・後学期授業開始 休講日 大 学 祭 休 講 日 振替開講日 予備日 冬 季 休 業 振替開講日 〃 休 講 日 <u>定期試験</u> 予備日 基礎教育科目再試験 卒業式・修了式 春 季 休 業 学年終・後学期終了	10月1日(木) 11月13日(金) 11月14日(土)～11月15日(日) 11月16日(月) 11月19日(木)「月曜日時間割授業」 11月28日(土) [10/1～11/27に全学休講が生じた場合に実施] 12月25日(金)～1月5日(火) 1月6日(水)「月曜日時間割授業」 1月14日(木)「金曜日時間割授業」 1月15日(金)「大学入学共通テスト会場設営」 2月3日(水)～2月9日(火) ※定期試験実施日は、別途設定される場合がありますので注意してください。 2月10日(水) [11/30～2/9に全学休講が生じた場合に実施] 3月15日(月)～3月19日(金) 3月23日(火) 3月24日(水)～3月31日(水) 3月31日(水)

【注】予備日については、通常の休講に対する補講等を行うものではなく、台風等で全学休講になった日の授業等に充当するものとする。また、専門科目試験期間については、別に定める。
※クォーター制は授業日程及び定期試験日程が異なるので、別紙「授業日程(クォーター制)」を参照のこと。

令和2年度の授業開始に伴う新型コロナウイルス感染対策として、当分の間、学食の混雑を回避するため、1・2時限から7・8時限の授業を15分短縮して実施する。

授 業 時 刻 表	時限	本来の時間	短縮時間 4月22日から当分の間
	第1・2時限	8:40～10:10	8:40～9:55
第3・4時限	10:30～12:00	10:15～11:30	
昼休み	12:00～13:00	11:30～13:30	
第5・6時限	13:00～14:30	13:30～14:45	
第7・8時限	14:50～16:20	15:05～16:20	
第9・10時限	16:40～18:10	16:40～18:10	

令和元年度 就職状況調査

1. 卒業生、修了生の就職希望状況

工学部

令和2年5月1日現在

区 分	環境応用化学科	社会環境システム工学科	環境ロボティクス学科	機械設計システム工学科	電子物理工学科	電気システム工学科	情報システム工学科	合計
卒 業 ・ 修 了 生 数	(17) 57	(5) 58	(4) 47	(4) 54	(1) 46	(0) 47	(4) 58	(35) 367
就 職 希 望 者 数	(15) 39	(4) 49	(1) 23	(3) 27	(1) 22	(0) 22	(3) 42	(27) 224
就 職 者 数	(15) 38	(4) 49	(1) 23	(3) 27	(1) 21	(0) 20	(3) 42	(27) 220

※ () 内数で女子

工学研究科

区 分	環境系コース (A化学)	環境系コース (B社環)	エネルギー系コース (C電物)	エネルギー系コース (D電シス)	機械・情報系コース (Eロボ)	機械・情報系コース (F機械)	機械・情報系コース (G情報)	合計
卒 業 ・ 修 了 生 数	(4) 24	(0) 6	(1) 21	(1) 27	(0) 16	(0) 21	(0) 11	(6) 126
就 職 希 望 者 数	(3) 22	(0) 6	(1) 19	(1) 27	(0) 15	(0) 20	(0) 10	(5) 119
就 職 者 数	(3) 22	(0) 6	(1) 18	(1) 27	(0) 15	(0) 20	(0) 10	(5) 118

※ () 内数で女子

2. 就職・進学状況

工学部

区 分	就職者 合計	就 職 就職者の地区別内訳							就職 未定者	進学		就職率
		九 州 管 内		中国 四国	近畿	中部	関東	北海道 東北 外国 他		大学院	研究生 専門学校 その他	
		宮 崎	県 外									
環境応用化学科	(15) 38	(2) 7	(12) 19	(0) 1	(1) 3	(0) 2	(0) 6	(0) 0	(0) 1	(0) 14	(2) 4	97%
社会環境システム工学科	(4) 49	(1) 11	(0) 14	(0) 2	(1) 2	(0) 2	(2) 18	(0) 0	(0) 0	(0) 8	(1) 1	100%
環境ロボティクス学科	(1) 23	(0) 5	(1) 11	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 6	(0) 0	(0) 0	(3) 21	(0) 3	100%
機械設計システム工学科	(3) 27	(1) 6	(0) 7	(1) 2	(0) 3	(0) 3	(1) 6	(0) 0	(0) 0	(1) 27	(0) 0	100%
電子物理工学科	(1) 21	(0) 4	(1) 7	(0) 3	(0) 1	(0) 0	(0) 6	(0) 0	(0) 1	(0) 21	(0) 3	95%
電気システム工学科	(0) 20	(0) 7	(0) 4	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 8	(0) 0	(0) 2	(0) 24	(0) 1	91%
情報システム工学科	(3) 42	(0) 13	(2) 8	(0) 0	(0) 3	(0) 1	(1) 16	(0) 1	(0) 0	(1) 14	(0) 2	100%
合 計	(27) 220	(4) 53	(16) 70	(1) 8	(2) 13	(0) 9	(4) 66	(0) 1	(0) 4	(5) 129	(3) 14	98.2%

※ () 内数で女子

工学研究科

区 分	就職者 合計	就 職 就職者の地区別内訳							就職 未定者	進学		就職率
		九 州 管 内		中国 四国	近畿	中部	関東	北海道 東北 外国 他		大学院	研究生 専門学校 その他	
		宮 崎	県 外									
環境系コース(A化学)	(3) 22	(1) 4	(1) 5	(0) 1	(1) 5	(0) 1	(0) 6	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(1) 1	100%
環境系コース(B社環)	(0) 6	(0) 1	(0) 2	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 0	(0) 0	(0) 0	(0) 0	100%
エネルギー系コース(C電物)	(1) 18	(0) 3	(0) 1	(0) 2	(0) 0	(0) 1	(1) 11	(0) 0	(0) 0	(0) 2	(0) 0	100%
エネルギー系コース(D電シス)	(1) 27	(0) 1	(0) 10	(0) 0	(0) 3	(0) 2	(0) 10	(1) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0	96%
機械・情報系コース(Eロボ)	(0) 15	(0) 0	(0) 2	(0) 0	(0) 4	(0) 1	(0) 8	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	100%
機械・情報系コース(F機械)	(0) 20	(0) 2	(0) 2	(0) 1	(0) 5	(0) 1	(0) 9	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	100%
機械・情報系コース(G情報)	(0) 10	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 1	(0) 0	(0) 8	(0) 0	(0) 0	(0) 1	(0) 0	100%
合 計	(5) 118	(1) 11	(1) 23	(0) 5	(1) 18	(0) 6	(1) 54	(1) 1	(0) 1	(0) 6	(1) 1	99.2%

※ () 内数で女子